

「ダンボールのワッカで長さをはかろう！」

■日程

2008年11月26日（水）14:00～15:30

■内容

石樽小学校の様々な場所の長さを、自分の身長をもとにしたワッカ（ダンボールキャタピラ）で計測する。最後にワッカを用いて、チーム対抗ワッカレースを行う。

■目的

- いつも使っている身近な場所を調べることによって、身近な場所を見直す
- 廊下を新しい（コースという）視点で見ることにより、見慣れた場所にも様々な使われ方があることを学んでもらう
- ワッカを使って体を動かすことで、距離を体で体験する

■対象

全学年 20名（5名×4チーム）

■スタッフ

10名（小松研7名+小松先生、B3黒木さん、B2杉村さん） → 2名フリー、2名/チーム

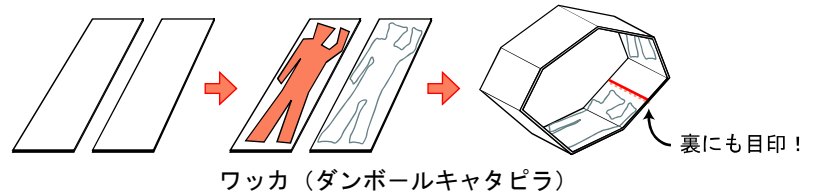
■場所

石樽っ子コーナー、2階廊下、体育館渡り廊下、中庭（雨天時は体育館）、いしぐれホール

■ホップ・ステップ・ジャンプ

□ホップ「作る」…ワッカ（ダンボールキャタピラ）の制作

スタッフ1名が中心となり、（横：100cm程度）×（縦：一番背の高い子どもの身長×2）のダンボールを作成し、外側に既成の柄や字が来るように、輪状に固定する。



並行して、別のスタッフは子どもにマジック等を用いて目印となる線を含む装飾を色画用紙にしておもらう。これをワッカの内側に貼り付けるとともに、内側の他の部分も装飾する（図のイメージを参照）。外側部分にも目印となる線を内側の目印のちょうど裏側にくるようにつける。

□ステップ「測る」…各チームで担当部分の長さを計測

チームごとに、「2階廊下①」「2階廊下②」「中庭の下から上まで（雨天時は体育館の長辺）」「体育館の踊り場から渡り廊下の端」をそれぞれ計測する。

ダンボールの内側に2人の子どもが入り、転がしながら測定。目印の線が何度、目の前を通過したか（何周したか）を計測。なお、外側にいる子どもも外側の目印を見て計測に参加する。計測結果からその距離を子どもに計算してもらい、各計測地の長さを予測する。



最後に皆で答え合わせをし、スタッフがあらかじめ調べておいた正解を発表する。最も誤差の少ないチームには参加賞特別版①を後ほど渡す。

ロジャンプ「遊ぶ」…ワッカを使って、チーム対抗ワッカレースをする

いしぐれホールにて、制作したワッカを用いてレースをする。レースはリレー方式とし、一人ずつがいしぐれホールの端から端までを移動。5人で計2.5往復をワッカでつなぎ、ゴールとする。1位のチームには参加賞特別版②を後で渡す。

■タイムテーブル

- 13:50 頃 早めに受付開始@石樽っ子コーナー
- 14:00～ 集合、受付
- 14:10～ 内容・計測方法説明
- 14:20～ ワッカ制作
- 14:35～ 計測開始・計算
- 14:55～ 答え合わせ・正解発表@いしぐれホール
- 15:05～ チーム対抗ワッカレース
- 15:15～ 集合写真、片付け
- 15:20～ アンケートの実施、参加賞の配布、解散

■用意するもの

ダンボールキット (4 チーム分+予備)、計算シート、計測地決めのくじ、ガムテープ (4)、マジックセット (4セット)、色画用紙 (8)、カラービニールテープ (4セット)、はさみ (8以上)、カッター (8、学生のみ使用)、プリントのり (8)、カッターマット (A4 サイズ、16)、装飾時の下敷き (新聞紙等)、鉛筆、アンケート、名札、参加賞、パソコン、プロジェクター (予備)、メジャー大 (当日計測用)
※各自、デジカメ、メジャー (持っていれば) を持参する。